



みつくら



《 北米産大豆 》

○13/14年 世界及び米国大豆生産予測・需給予測

米国農務省が11月8日発表した、13/14年度の世界大豆生産高予測によれば、生産量はアメリカで生産面積が減少するものの、ブラジルで収穫面積の増加により史上最高、またアルゼンチンで単収の上昇と、史上最高の作付面積により増加となることなどから、世界全体で前年度を上回り史上最高となる見込み。一方、消費量もアルゼンチン、中国などで増加し史上最高となる見込み。ただ、生産量が消費量を上回り、期末在庫は前年より上昇する見込みとなっています。

13/14年産 世界大豆生産・需給予測

生産量	2億8,354万t	(対前年比	5.8%増)
消費量	2億7,000万t	(対前年比	4.5%増)
期末在庫量	7,023万t	(対前年比	16.8%増)
期末在庫率	26.0%	(対前年度差	2.8ポイント増)

13/14年産 米国大豆生産・需給予測

生産量	8,866万t	(対前年比	7.4%増)
消費量	4,881万t	(対前年比	0.8%増)
輸出品	3,591万t	(対前年比	9.9%増)
期末在庫量	383万t	(対前年比	20.9%増)
期末在庫率	4.5%	(対前年度差	0.7ポイント増)

○2013年産カナダ産大豆生産高予測

カナダ農務・農産食品省がこのほどまとめた、同国の穀物・油糧種子レポートによれば13年産大豆の生産量は、**488万t**と前年を若干下回ると見込んでいます。オンタリオ州では、単収が**1.0%減少**したことにより、**生産量も1.3%減の300万t**に、ケベック州では単収が**1%減少**したことにより、**生産量も減少すると予測**しています。



《 中国産大豆 》

○中国産大豆生産状況

中国産大豆の生産状況は裏面の表の通り、年々減少している状況です。背景として、米等の作物への転向する農家が多く、栽培面積が減少することとなっています。一大産地である黒竜江省では、5年前と比較して、栽培面積で40%、生産量は35%の減少している状況です。

現地からの報告によれば、2013年産大豆の現在までの作柄状況は、一部地域で水害の影響があるようですが、日照時間、積算温度、降水量等必要な条件を満たしており、粒は例年より大きめになる傾向にあるとのこと。

三倉産業株式会社

仙台市若林区卸町1-4-7 TEL 022-232-6151

URL:<http://www.mitk.co.jp/mitukura> E-mail: mitk@mitk.co.jp

<< 「豆」がメロディーを奏でると「豊」という字ができます >>



みつくら

単位 1000ha 1000t	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年 予想
黒竜江省 栽培面積	4,000	3,820	3,548	3,460	2,670	2,400
黒竜江省 生産量	6,950	5,920	5,850	5,420	5,000	4,500
吉林省 生産量	910	820	870	790	700	630
中国全体の 栽培面積	9,340	8,800	8,200	7,370	6,670	6,000
中国全体の 生産量	15,550	14,900	15,000	13,500	12,500	11,000



《 トピックス 》

○平成25年産国産大豆入札情報

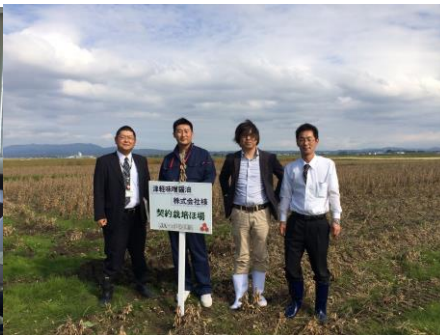
今月の11月27日から、25年産国産大豆入札取引がいよいよ開始されます。上場予定数量は、約6000t程度が見込まれています。今後は国産大豆の価格状況など、逐一情報提供と、ご案内をしてまいります。

○三倉産業「国産大豆クロップツアー」開催

先月の10月23日青森県開催を皮切りに、「国産大豆クロップツアー」を実施させていただいております。

11月には、宮城県内のJA栗っこ・みやぎ登米、JAあさひな・みどりの、JA仙台の各農協にて、JA、生産者、メーカーの皆様との意見交換の場として、ファーマーズミーティングと、契約栽培大豆の圃場視察を実施する予定となっております。

本年度のツアーは今月終了いたしますが、平成26年度の開催も予定しておりますので、「国産大豆クロップツアー」にご興味のある方は、ぜひ各営業担当へお問い合わせいただければ幸いです。



三倉産業株式会社

仙台市若林区卸町1-4-7 TEL 022-232-6151

URL: <http://www.mitk.co.jp/mitukura> E-mail: mitk@mitk.co.jp

<< 「豆」がメロディーを奏でると「豊」という字ができます >>